

令和5年第4回市議会定例会

市長提案理由

(令和5年12月5日提案)

令和5年第4回市議会定例会の開会に当たり、市政諸般の御報告をいたしますとともに、ただいま上程されました諸議案について御説明いたします。

秋の行楽シーズンを迎え、市内でも様々なスポーツイベントや文化・芸術イベントが開催されました。ラグビーワールドカップ2023のパブリックビューイングや「別府湯けむり健康マラソン・ウォーク大会」、大分県農林水産祭「おおいた みのりフェスタ」や「竹と月夜の調べ」など、市内外から多くの方にお越しいただき、コロナ禍前の賑わいとなりました。また、市制100周年記念事業実行委員会プレ事業「シン・別府学講座」は、別府の過去を学ぶ8つのテーマで開催され、先人たちの思いや努力、その功績を学び、郷土への愛と誇りを深める機会となりました。

10月には新たな試みとして、様々な市の施策を事業担当者とともに説明する「別府市政フォーラム」を開催いたしました。本質的な課題に対する政策について一貫性を持って取り組むため、今後も市民の皆様にご直接お伝えする機会を設け、御意見を伺っていきたくと考えています。今年で8回目となった「マーチング・カーニバル in 別府」は、「別府をマーチングの聖地に」をスローガンに市制100周年記念プレ事業として開催し、県外のマーチング強豪校をお迎えして、2日間にわたり素晴らしいパフォーマンスを披露していただきました。同じく、市制100周年記念プレ事業として開催した「別府ONSENアカデミア2023」では、ウェルネスツーリズムの先進地でもあるフランスヴィシー市の副市長による温泉療法についての講演や、温泉入浴に関する実証実験の研究発表とディスカッションなど様々なプログラムを組み、多くの方に聴講いただきました。これらの研究成果を継承して、今後も温泉の効果について検証・発信し、温泉地としてのブランディングを目指してまいります。来年11月に大分県で開催される「第43回全国豊かな海づくり大会」の1年前プレイベントとして「おおいた海博」が開催されました。大分の豊かな水産資源を次世代へつなぐため、別府市としても県や漁業関係者と連携して来年の大会を盛り上げていきたいと思っております。昨年の堂面棚田に続き、2回目となる「湯のまち棚田マルシェ」を天間棚田で開催いたしました。そして令和7年の秋に「第30回全国棚田サミット」が別府市で開催されることが決定いたしました。棚田の景観や文化など更なる魅力を全国へ発信し、棚田地域の農業の継続と発展を図っていきたくと思っております。

次に、9月から運用を開始した「たびスタ」休暇についてです。小・中学生を対象に

平日の家族旅行での休みを3日間までは欠席扱いとしない、全国的にも珍しい「たびスタ」休暇の運用を9月1日から始めました。「旅育」という言葉もあるように、旅先で得られる経験や家族との時間は、子どもたちにとって貴重な学習の機会だと考えています。この「たびスタ」休暇を温泉観光地である別府市が全国に先駆けて行うことで、観光需要の平準化や安定的な雇用、地域経済の活性化にも寄与できると期待しています。

こどもまんなか社会の実現に向けた取組として、来年1月に「リゾート産後ケア」を実施します。別府市の特性を活かし、市内の旅館やホテルで、助産師が母親の休息時間をサポートするとともに、母親自身の健康や育児に関する相談に応じ、育児不安の軽減と癒しを提供します。今年度は実証事業として実施し、課題を抽出して事業を確立し、母子一体的な支援の充実を図ってまいります。

次に、新湯治・ウェルネスツーリズム推進事業についてです。事業を推進する背景や目的の理解促進を図り、市民の皆様や事業者の方から御意見をお伺いするため、ひとまもり・まちまもり協議会と別府商工会議所で「新湯治・ウェルネスツーリズム懇談会」を開催いたしました。今後も順次、各ひとまもり・まちまもり協議会で懇談会を開催し、新湯治・ウェルネスツーリズムへの理解促進を図ってまいります。

次に楠銀天街につきましては、新しい賑わいの創出に向けて、イベントの開催など地元主体のまちづくりが動き出しています。市もアーケード撤去及び道路整備に向けて準備を進め、持続可能な南部の新しいまちづくりを支援します。

次に、地域交通の取組についてです。それぞれの交通利用者が抱える課題を把握し、利用者のニーズに沿った解決策を庁内で横断的に検討するため、「持続可能な地域交通を創るタスクフォース」を設置しました。デジタル技術の活用による新たな公共交通システムの導入のほか、既存の交通システムとの組み合わせなど、持続可能な地域交通の実現に向けて、総合的な対策を講じてまいります。深夜の帰宅手段として8月に運行を開始したナイトバスも多くの方に利用していただいております。喫緊の課題に対しスピード感を持って対応しながら、本質的な問題の解決へ向けて取り組んでまいります。

二重住所の解消に向けて昨年度より準備を進めてきた住居表示は、来年1月に、荘園北町・東荘園・緑丘町の3町で実施します。住所を一本化することにより、加速す

るデジタル化に即した利便性の高い行政サービスの実現を図ります。今後、他の地域についても順次、住居表示実施に向けて準備を進めてまいります。

来年4月の市制施行100周年に向けて、市制100周年記念事業実行委員会のプレ事業が「シン・別府学講座」を皮切りにいよいよ始まりました。12月17日には、来年の「目玉イベント」を皆さんと一緒に考えるワークショップも開催されます。べっぷクリスマスファンタジアも、市制100周年記念プレ事業として次の100年に向け盛大に夜空を彩ります。市制施行100年まで、あと100日余りとなりました。さらに機運を醸成し市民の皆様と一緒に盛り上げていくため、街中での広報を精力的に行い、春には別府公園で満開の桜の下、「100周年祝い春茶会」を開催し、記念すべき100周年を祝うための補正予算を計上いたしました。先人たちが築き上げてきた100年の歴史、伝統、文化、産業、その功績に思いを馳せ、100周年を市民総参加で祝い、まだ見ぬ未来への輝く100年に向けて飛翔することを目指してまいります。

続きまして、上程されました各議案の主なものについて、その概要を御説明いたします。

はじめに、一般会計補正予算ですが、今回補正する額は、16億1,800万円の増額で、補正後の予算額は644億800万円となります。

その主なものとして、総務費では、令和6年度も継続して保育所、幼稚園、小中学校等の給食費保護者負担を軽減するため、当該事業の財源として競輪事業収入を活用することに伴い、財政調整基金積立金の追加額を計上しています。また、湯のまち別府ふるさと応援寄附金の増加が見込まれることに伴う、関係経費の追加額を計上しています。さらに、来年4月の市制施行100周年に向け、記念式典やイベントの充実を図るなど、より一層機運を醸成し、まち全体で盛り上げていくため、市制100周年記念事業実行委員会負担金の追加額を計上しています。

民生費では、事業所や利用者の増加に伴う自立支援給付費及び障害児通所給付費の追加額を計上しています。また、新型コロナウイルス感染症に係る医療費公費負担の終了や、受診控えの解消などに伴う生活保護費の追加額を計上しています。

衛生費では、発症や重症化を予防するため、50歳以上の方を対象とする带状疱疹ワクチン予防接種費用の一部を助成する経費を計上しています。

災害復旧費では、令和5年6月から7月にかけて発生した梅雨前線豪雨により被

災した、公共土木施設の復旧費を計上しています。

次に特別会計では、競輪事業において、売上金の増加が見込まれることに伴う関係経費の追加額を計上しています。今回の補正額は、40億4,190万円の増額で、補正後の特別会計予算の総額は670億353万6千円となります。

以上が、今議会における予算関係議案の概要です。

次に予算外の議案について、御説明いたします。

予算外の議案については、「条例関係13件」、「その他10件」の計23件を提出しています。

議第117号「別府市役所事務分掌条例の一部改正について」は、介護保険に関する事務をいきいき健幸部から市民福祉部に移管することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第118号「別府市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について」は、遺族補償年金前払一時金が支給される場合の遺族補償年金の支給の停止の規定を見直すことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第119号「特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について」は、特別職の常勤職員等に支給する期末手当の額を改定することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第120号「別府市職員の給与に関する条例等の一部改正について」は、国家公務員及び大分県職員の給与改定の事情を考慮して一般職の給与改定等を行うため、条例を改正しようとするものです。

議第121号「別府市営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、旧浜脇中学校の体育館及び運動場を別府市営体育施設とすることに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第122号「別府市国民健康保険税条例の一部改正について」は、地方税法の一部が改正され、出産被保険者に関する減額制度が規定されたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第123号「別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について」は、子ども・子育て支援法の規定に基づき

条例を定めるに当たり従うべき基準等を定める内閣府令の一部が改正されたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第124号「別府市競輪事業の設置等に関する条例の制定について」、議第125号「競輪事業管理者の給与及び旅費に関する条例の制定について」及び議第126号「別府市公営事業局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について」は、競輪事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴い、条例を制定しようとするものです。

議第127号「別府市競輪事業建設改良基金条例の制定について」は、地方公営企業法施行規則第45条の規定に基づき、新たに別府市競輪事業建設改良基金を設置することに伴い、条例を制定しようとするものです。

議第128号「別府市火災予防条例の一部改正について」は、対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部が改正され、規制する蓄電池設備の見直し等がされたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第129号「住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について」は、住居表示の実施に伴い、当該実施区域内の公の施設の位置の表記を改めるため、関係する条例の整理をしようとするものです。

議第130号から議第137号までの「指定管理者の指定について」は、指定管理者に公の施設の管理を行わせることについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるものです。

議第138号「住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について」は、住居表示に関する法律第3条第1項の規定により議会の議決を経て、住居表示を実施する市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法を定めようとするものです。

議第139号「公共下水道事業の事務の委託について」は、公共下水道事業から生じる脱水汚泥の処理に係る事務を大分市に委託しようとするものです。

以上で各議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくお願い申し上げます。